

心が動く、その先へ。



授業動画を使った
図画工作科の研修
～子どもの活動を価値付ける見方～



「子どもの活動を価値付ける見方」について考えられるようになる

- 図画工作の学習では、子どもたちが学習を深めていくような声掛けがとても大切です。
- 子どもたちにどのような声掛けが必要かを考えるには、その場その場で子どもの考えていることや感じていることを把握する必要があります。
- つまり、「子どもの活動を価値付ける見方」とは、授業の中で「指導に生かす評価」を行い、必要な指導・支援を行っている、ということです。

授業動画を見たり、実際に活動に取り組んだり、みんなで語り合ったりしながら、子どもが感じたり考えたりするであろうことを思い浮かべて、子どもの見方を見つけましょう！！



タイムテーブル

ステップ	所要時間
①教科書を見て、子どもへの声掛けの言葉を考える	15分
②実際に活動してみる	25分
③活動して感じたことを語り合う	15分
④もう一度教科書を見る	15分
⑤授業動画を見て見つけたことを紹介し合う	30分
合計	100分

準備物

- 視聴する動画の題材が掲載されている教科書
 - わっかで へんしん:1・2下
 - 光とかげから生まれる形:3・4下
- 付箋 グループに一束
- ペン 一人一本
- タブレット端末 グループに一つ
- 活動に使う材料や用具
 - 教師用指導書朱書編を参照



材料や用具はすべて用意しなくても大丈夫です。
実際にやってみることで「もっとこういう材料があった方がいいかも」といったことも考えられるようになります。





研修の流れ

①教科書を見て、子どもへの声掛けの言葉を考える

15分

ステップ	所要時間
ア)該当の題材を見ながら、どの写真や作品に、自分ならどんな言葉を掛けるのかを考えて付箋に書き出す	5分
イ)書き出した付箋を見せ合いながら、グループで紹介し合う	5分
ウ)グループで語り合ったことを全体で共有する	5分

- 価値付けたい(評価したい)こと
 - 促したいこと
 - 気付いてほしいこと
- など、まずは思ったことを自由に出していきましょう。



②実際に活動してみる

25分

ステップ	所要時間
ア) 動画の導入部分をみんなで視聴する	5～7分
イ) 実際に活動する	13～15分

- 動画の導入場面での先生の言葉を受け止めながら、子どもと同じように活動していきましょう。
- 他の先生の活動や表しているものを見合ったり、価値付け合ったりしながら取り組んでも大丈夫です。



③活動して感じたことを語り合う

15分

ステップ	所要時間
ア) 実際に活動してつくったものを見せ合いながら感じたことや考えたことをグループで語り合う	10分
イ) グループで語り合ったことを全体に共有する	5分

- 面白かったこと
 - 自分なりに工夫したところ、頑張ったところ
 - 難しいと感じたこと
 - 活動しながら気付いたこと
- など、どんなことでも大丈夫です！



④もう一度教科書を見る

15分

ステップ	所要時間
ア) 題材を見ながら、どの写真や作品に、自分ならどんな言葉を掛けるのかを考えて付箋に書き出す	5分
イ) 書き出した付箋を見せ合いながら、グループで紹介し合う	5分
ウ) グループで語り合ったことを全体で共有する	5分

- 最初に教科書を見たときと、実際に自分が活動した後に教科書を見たときの、感じ方の変化を大切にしながら、書き出しましょう。



⑤授業動画を見て見つけたことを紹介し合う

30分

ステップ	所要時間
ア) 授業動画を見ながら、子どもたちの活動で「いいな」と思ったところ (動画の時間)を書き出す	15～20分
イ) 書き出した場面をもう一度見ながら、みんなで紹介し合う	10～15分

先生の声掛けや振る舞いに着目してもいいですが、「子どもの活動」に着目するか、「先生のふるまい」に着目するか、グループで事前に決めておいた方が、話が焦点化しやすいです。



指導書同梱の「指導者用デジタル教科書」のご案内

「教師の関わり編」「子どもの評価編」などが入っています

教師の関わり編

授業での先生の声掛けの意図やねらいを解説しています

子どもの評価編

資質・能力を発揮している姿を、観点別に紹介しています

★5・6年では「ほり進めて刷り重ねて」の動画もご視聴いただけます

授業動画

◀ もどる



図工の評価編（全学年共通）

図画工作科における指導と評価の考え方にについて、ポイントを簡単にまとめています。



授業ダイジェスト編

授業全体をコンパクトにまとめています。解説などは入っていません。先生同士で授業のポイントなどを考えたり、子どもの姿をどのように評価するか話し合ったりしながらご覧ください。



教師の関わり編

授業を組み立てるポイントや、子どもが目標を達成できるようにする関わりについて、具体的に解説しています。



子どもの評価編

評価規準を基に、子どものどのような姿を見取り評価していくとよいか、具体的に解説しています。



授業者インタビュー編

図画工作科の授業を行うにあたって、大切にしている点やこだわりについてお答えいただいています。

心が動く、その先へ。



日本文教出版